

虫明 元先生のご講義をスウェーデンの社会福祉と結びつけて

卒業生 藤原瑠美

虫明元先生は、「21世紀の人づくりの課題は、非認知スキル（社会情動的スキル）の育成である」というOECDの通念を脳科学的に研究・教育をなさっています。未来に希望がもてる感銘深いご講義でした。

ゼミに遅れて参加した私は社会情動的スキルのお話を聞いた途端、「スウェーデンでは、なぜ認知症が重症化しないのか」「日本では、なぜ認知症が重症化するのか」という自分の研究テーマ発想を飛躍させることができました。

スウェーデンでは、認知症が重症化しません。

それは、スウェーデンのお年寄りの方が日本のお年寄りに比べて自己効力感をもっていることが関係しているのではないかと、思っていました。日本のお年寄りは「老いては子に従え」という遠慮があり、自らの人生を自分らしく全うできないでいます。

スウェーデンでも20世紀初頭までの農村では、家畜小屋の2階の隠居部屋があったので日本とあまり変わりなかったのかもしれませんが。。

OECDの国々の認知症発症率は65歳以上の人口の約8%。私がスウェーデンで定点観測をおこなった南部スコーネのエスロブ市の発症率は8%をやや下回る数字です。

ところが、日本の65歳以上の認知症の発症率は15%とされています。この違いは診断にかかる時間の違いや、日本の方が医療主導であること、老後の公的な経済保障、自律・自立の文化、夫婦や地域の絆などいろいろ原因はあると思います。

違いはどこから生まれるのか非常に知りたいところです。

OECDは、「社会情動的スキル」を自己認識、動機、粘り強さ、自己統制、メタ認識、社会能力（多様性を受容できる）、弾力性、クリエイティビティと定義しています。

社会情動的な生き方が、認知症になったとしても重症化を食い止めることができる要因なのでしょうか。

注目したのは、乳児のころから対人的に受ける社会の学びが発展して、社会情動的スキルの学びにつながる（ような印象）を受けたことです。脳科学的な実験では、RとLの発音に関して、英語を母国語とする養育者から乳児の段階から学ぶと発音ができるようになるということです。それも録音を聞いただけではだめで、人間が介することでシナプスの結を変化させることができるそうです。

人類の脳は人を介して成長していったのでしょうか。NHKの「人類誕生」という番組によると、ネアンデルタールより弱いホモサピエンスが恐竜や氷河期を生き延びられたのは、社会をなし、助け合いながら生きてきたからだそうです。アリストテレスは「人は社会的動物である」という言葉を残しましたが、ホモサピエンスのDNAは社会生活があるようです。

スウェーデンの『ソーシャルオムソーリ（社会福祉）』の教科書の巻頭には「人は社会的な動物である」という言葉が書いてあります。ケアを担う人々に教えるのはケア技術ではなく、人間理解なのです。

近年、スウェーデンの学校庁は国家戦略として就学前教育（1歳から5歳+6歳）で「内的起業家精神」の育成を行なっています。内的起業家精神とは、ビジネスを立ち上げるということではなく、社会情動的スキルにつながる生き方ができるように、7歳から始まる基礎学校（日本の小・中学）の前の教育が重要視されている。内的企業家精神社会の内容は情動的スキルの提唱と似ています。脳科学がつながると科学的に実証されます。重要な脳科学的情報は、老いてからも働く海馬の役割です。海馬の細胞は他の脳細胞が一度死滅すると再生が不可能であるのに比べて、歳をとっても生まれ変われる！さらに過去の記憶は現在の記憶でリフレームされ、新しい未来への記憶となる。睡眠休息時に固定・安定化される。超高齢社会に可能性が生まれそうです。

私は社会情動スキルは、スウェーデンの「Folkhälsopolitik（新国民健康政策；Sweden's new public health policy）」で掲げられた11の目標の、その1、社会参加と社会への影響力（Participation and influence）につながるように思えてなりません。

スウェーデンのFolkhälsopolitikは、2002年にスウェーデン国会で可決されました。これは、エーデル改革（画期的な高齢者の医療福祉改革）を施行した年（1992年）に設立された国立公衆衛生研究所(SNIPH)が10年かけて練り上げた国の目標です。社会情動的スキルには、OECDと関係が深いスウェーデンの考え方が入っているに違いないと思います。その研究には脳科学の研究がどのように入っているのかというのが、現在の私の最大の関心ごとです。

スウェーデンは20世紀をかけて民主主義の国を築いてきました。社会情動的スキルは民主主義であり、健康な社会の中に健康な高齢者を育んできたのです。

虫明先生からもっとご講義を伺いたくなりました。